

2008年11月14日

株式会社みずほ銀行
株式会社損害保険ジャパン

みずほ銀行と損保ジャパングループとのリスクマネジメント分野における提携 ～ 新たなリスクマネジメント課題に対応したソリューションの提供開始 ～

株式会社みずほ銀行（頭取：杉山 清次、以下「みずほ銀行」）と、株式会社損害保険ジャパン（社長：佐藤 正敏）のグループ会社である株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント（社長：瀬尾 隆史、以下「S J R M」）および株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス（社長：小澤 正彦、以下「S J H S」）とは、リスクマネジメント分野での業務提携を行います。

これにより、みずほ銀行は、事業継続マネジメント（B C M=Business Continuity Management）・新型インフルエンザ・メンタルヘルスといった近時注目されているリスクマネジメント課題に対応したコンサルティング会社の、顧客企業への紹介を11月14日から開始します。

1. サービス提供開始の背景

企業を取り巻くリスクは企業規模を問わず、複雑かつ多様なものとなってきており、リスクの「認識」「被害の計量」「対策」は多くの企業にとって困難な課題となっています。なかでも事業継続マネジメント（B C M）や、新型インフルエンザ・メンタルヘルスへの対策は重要な経営課題となってきていますが、これらの対応には専門的なノウハウが必要であり、特に中堅・中小企業では単独での対応が困難な分野と考えられます。

みずほ銀行では、以前から企業を取り巻く各種リスクについて、顧客企業に対しソリューションを提供したり、みずほグループのコンサルティング会社の紹介等を行ったりしてきました。今般、新たなリスクマネジメント課題への対応について高いノウハウと実績をもつ損保ジャパングループのS J R M・S J H Sと業務提携することで、中堅・中小企業を中心とした顧客企業のニーズへの一層の対応強化を図り、リスクマネジメント計画の策定や対策の実行をサポートすることとしたものです。

2. サービスの概要

新たなリスクマネジメント課題に関してリスクの内容・対策など関連情報の収集や具体的対策の検討を希望する顧客企業に対し、みずほ銀行がその内容に応じてS J R MまたはS J H Sを紹介します（具体的には次ページのとおり）。

リスクマネジメント課題	必要なリスク対策	紹介するコンサルティング会社
事業継続マネジメント（BCM）	地震災害等を踏まえた生産設備の安定化、サプライチェーンの安定化 など	損保ジャパン・リスクマネジメント（S J R M）
新型インフルエンザ	パンデミック（世界的流行）発生時の事業維持策 など	
メンタルヘルス	メンタル不調者発生による生産性の低下および安全配慮義務違反等による訴訟・労災事故に対する未然防止 など	損保ジャパン・ヘルスケアサービス（S J H S）

3. 今後の展開

みずほ銀行と損保ジャパングループでは、本業務提携を含め、今後も中堅・中小企業を中心とした法人のお客さまの経営課題に対する支援に取り組んでまいります。

以上

【ご参考：本提携概要図】

